

水道事業評価(令和7年度)						担当課	上水道建設課
1 事業情報							
目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施 策	3-1 震災対策の強化	事 業	3-1-1 水道施設の耐震化

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。							
事業目的	地震等の災害発生時においても市民の救護活動等に支障をきたすことのないよう、浄配水場から重要給水施設(災害拠点病院及び救急告示医療機関)への配水ルートを優先的に耐震化します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.57km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	136,050	2,799	133,251	136,050	2,799	133,251	100%
	工事費	133,251	0	133,251	133,251	0	133,251	100%
	原材料費	0	0	0	0	0	0	
	委託料	2,799	2,799	0	2,799	2,799	0	100%
	賃借料	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	人件費	9,213			9,213			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	133,251千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	98%		
進捗状況	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.62km更新しています。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・災害発生時においても市民の救護等に支障とならないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管により0.63km更新しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。
------	---

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	重要給水施設配水管路の耐震管率	単位	%	目標値	82.5			
算出式・根拠	(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長)×100 ※重要給水施設・災害拠点病院の他、重要拠点施設(第一本庁舎等も含む)				実績値	83.7		
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	A
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	A
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
市民などからの意見や苦情に適切に対応し、事業へのフィードバックを行いました。また、改善策として職員全体で業務に関わる知識や情報の伝達を積極的に行い、職員の知識向上を図りました。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
今後、耐震化を進めていく重要給水施設への配水ルートを選定したが、選定配水ルートが最も効果的かつ効率的な配水ルートか検証・解析を行います。	現状維持で継続